

令和 創造調和

令和4年6月13日
半田市立半田中学校
第5号
学校だより

修学旅行 ★ONE TEAM★～最高の瞬間を～

6月6日（月）から6月8日（水）まで、3年生が修学旅行に行ってきました。

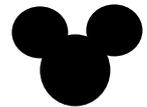
教職員の願いには、3年生は、コロナ禍により学校が休校になったり、行事が中止・縮小になったりして、一番、不自由で窮屈な思いをしてきた学年だからこそ、修学旅行という学びの集大成の中で、生徒には最高の瞬間を味わわせたいと考えて計画しました。

修学旅行の中で、常にこだわってきたことは「公共心」「公德心」です。社会の一員としての自覚をもち、人に迷惑をかけず公共のマナーを守ることは、社会人としてとても大切なことです。集団行動のルールや時間を守り、公共のマナーを考えた行動をする中で、楽しむときはとことん楽しむ。3年生にとって、思い出に残る「最幸」の修学旅行になりました。

修学旅行のメインは、何と言ってもディズニーでの体験です。ディズニーには、数々の感動秘話があるのを知っていますか。

東京ディズニーランド スプラッシュマウンテンで、母の形見の指輪をなくしたゲストがいたそうです。水の中に落ちた指輪の発見は無理だと思いましたが、念のためにキャストに相談。相談した時はキャストも困惑です。「一応、連絡先を教えてください」と言われ、連絡先を教えました。しばらく連絡はなかったのですが・・・突然、電話がかかってきたんだそうです。「指輪を見つけました」その瞬間、胸が熱くなったそうです。「どうやって見つけたんですか？」と聞くと、「ここは魔法の国です」と返ってきました。大事な母の形見が見つかったその方は大変大喜びし、ディズニーを大好きになったそうです。

うわさでは、この1つの指輪を探すのに、30人のダイバーが潜ったんだそうです。ゲストの「想い」は感動へとつながりました。



ディズニーが世界中で愛されるのは、明るい世界観、行きとどいた清掃、アトラクションの魅力はもちろんですが、ゲストに感動を与えるのは、「人と人のコミュニケーション」にあると思います。ディズニーは、ゲストに感動を与えるには、コミュニケーションが必須であり、コミュニケーションの本質は「相手を認めることにより、相手から認められること」と言っています。また、風通しのよい環境づくりのために、お互いを役職名ではなく「さん」づけで呼び合い、コミュニケーションを図りやすくしているそうです。

これが、ディズニーの感動を呼ぶサービスの原点です。

生徒は、事前にオンラインで、東京ディズニーリゾートがテーマパーク事業の中で培ってきたノウハウやスキルを学べる「ディズニーアカデミー」を通して、東京ディズニーリゾート独自の「おもてなし」や「キャストの仕事」などを知り、相手の立場に立ったコミュニケーションの大切さを学びました。この学びがなかったら、「楽しかった」だけで終わっていたかもしれません。

もし、半田中学校がディズニーのように、生徒に感動を与えられる学校であったらどんなにすばらしいかとふと考えていると、ある生徒が、「幸せって、なるものではなく、気づくものですね。ありがとうの言葉一つで、幸せに感じました」と言いました。この修学旅行で、生徒は、多くの人たちの「思い」に触れて、最高の瞬間を味わうことができたと思います。

私も、キャストの丁寧な対応に、心があたたかくなりました。

本部で待機していると、突然、雨が降り出したので、室内に移動し、雨が止むのを待っていました。雨が上がって外を眺めていると、キャストさんが私のところに来て、「椅子とテーブルを拭いておきましたので、どうぞご利用ください」と伝えに来てくれました。私は、「わざわざ伝えに来てくれたんですか。ありがとうございます」とお礼を言うと、「ここは魔法の国ですから」と笑顔で対応してくれました。



熱中症が心配される季節

熱中症が心配される季節となり、生徒のマスクの着用が問題視されています。

ある報道番組の中で、「感染症と熱中症とどちらが恐いですか？」という質問に対して、多くの生徒は、感染症の方が怖いと言っていました。中には、マスクを外して生活することが恥ずかしい、マスクを着けていると安心、顔を見られたくないと言って、体育の授業や運動部の部活動では、マスクは外せないという生徒がいました。

生徒の学校でのマスクについては、体育の授業でマスクをつける必要はないとしています。屋外で2メートル以上の距離が取れる場合や会話をしない場合、屋内でも2メートル以上の距離があり、会話をほとんどしなければマスクの着用は不要としています。また、学校でのマスクの着用について、身体的距離が十分に確保できないときは着用を指導します。

その上で、人との距離が確保できる場合や、体育の授業での着用は必要がないとし、夏場などの気温や湿度が高いときには、熱中症対策を優先し、マスクを外すことなどを指導しています。

学校でも、気候の状況等により、エアコンや扇風機を適切に使うとともに、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう指示をしていきます。その際は、換気し、生徒間に十分な距離を保つこと、近距離での会話を控えることを徹底していきます。